

平成15年度「経済学と現代」夜間主コース —中間試験問題—

【問1】限界効用に関する誤った記述(1つ)は、次のうちどれか?(5点)

- (1) 限界効用とは、追加的な消費から得られる効用の増加分を意味する。
- (2) 消費量とともに効用は増加するが、限界効用は減少する。
- (3) 消費量とともに効用が増加すれば、限界効用曲線は右下がりになる。
- (4) 限界効用曲線が右上がりに描かれるならば、限界効用逓減の法則は成立していない。

【問2】無差別曲線に関する正しい記述(1つ)は、次のうちどれか?(5点)

- (1) ある無差別曲線より南西の領域にあるすべての消費バスケットは、その無差別曲線上のどのバスケットよりも低い満足をもたらす。
- (2) 無差別曲線は様々な消費バスケットに対する消費者の好みの順序を表したものであり、基数的効用を前提としている。
- (3) 無差別曲線が右下がりで描かれるときのみ、限界代替率逓減の法則は成立する。
- (4) 限界代替率逓減の法則が成立しないときでも、無差別曲線は原点に対して凸になる。

【問3】予算制約に関する正しい記述(1つ)は、次のうちどれか?(5点)

- (1) 予算制約線上の消費バスケットを購入すると、予算を超過する。
- (2) 予算制約線上の消費バスケットはつねに、予算を使い切らないどんな消費バスケットよりも高い満足をもたらす。
- (3) 2財の価格比(相対価格)は、予算制約線の傾きの絶対値である。
- (4) ある財の価格が下落すると、その財の消費量をグラフの縦軸にとるならば、予算制約線は横軸切片を中心に反時計回りに回転する。

【問4】消費選択に関する誤った記述(1つ)は、次のうちどれか?(5点)

- (1) 財Yに対する財Xの限界代替率が相対価格(財Xの価格/財Yの価格)より小さいとき、財Xを減らして財Yを増やした方が満足は高まる。
- (2) 財Yに対する財Xの限界代替率が相対価格(財Xの価格/財Yの価格)より大きいとき、財Xを増やして財Yを減らした方が満足は高まる。
- (3) 所得が増えたときにその消費量を減らすような財を劣等財という。
- (4) 予算を使い切るような消費バスケットはすべて、効用を最大にする。

【問5】以下の用語の経済的な意味を簡潔に説明しなさい。(計10点)

- (1) 限界代替率逓減の法則(5点) (2) 相対価格(5点)

【問6】2財 X と Y を消費する消費者を想定する。所得を I 、2財の価格をそれぞれ p_x と p_y で表す。(計20点)

- (1) 解答欄にあるグラフの中のA点が最適消費点であるとする。このとき、予算制約線およびA点とB点を通る無差別曲線をそれぞれグラフに描きなさい。(10点)
- (2) 財 X が中立財、財 Y が正常財であるときの所得消費曲線を、解答欄のグラフに描きなさい。ただし、必要な予算制約線と無差別曲線も描き入れること。(10点)

【問7】2財 X と Y を消費する消費者を想定する。所得を I とし、財 X の価格を1、財 Y の価格を2とする。効用関数は以下のように与えられる。

$$U = \log x + 2y + 3 \quad (\text{計20点})$$

- (1) 財 X と Y の最適消費量をそれぞれ求めなさい。(12点)
- (2) 財 X と Y はそれぞれ、正常財、中立財、劣等財のうちのいずれであるか?(8点)

【問8】貨幣の保有量を m 、財 X の価格を p で表し、所得(貨幣の初期保有量)を1000とする。効用関数は、以下のように与えられる。

$$U = 2(200 - x)x + 4m \quad (\text{計20点})$$

- (1) 財 X の需要曲線を導出しなさい。(8点)
- (2) $p = 30$ のとき、財 X への実際の支払総額はいくらか?(6点)
- (3) $p = 30$ のとき、財 X からの消費者余剰はいくらか?(6点)